

第1学年2組 美術科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月

指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

材料に命を吹き込む

題材終了後の子どもの姿	材料の形や質感に着目し、自分なりのイメージをもって考え、工夫して表現している。 材料の特徴や色彩、連想する形を自分なりにとらえ、構想を練ったり鑑賞したりしている。 身近な材料の特徴や色彩、形に関心をもち、特徴を捉えて見立てることに意欲をもって取り組んでいる。		
	<b>知識及び技能</b>	<b>思考力、判断力、表現力等</b>	<b>学びに向かう力、人間性等</b>
題材の目標	① 材料の形や色彩、質感などから何かに見立てたり、全体のイメージでとらえたりすることができる。 ② 材料の生かし方を考え、自分なりに工夫して表現することができる。	① 材料から感じ取った形や色彩、特徴をもとにテーマをもって構成を工夫し、表現することができる。 ② 材料から造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や工夫点に着目して作品を鑑賞することができる。	① 身近な材料の形や特徴などに着目して表現活動に取り組もうとしている。 ② 友達の意見を取り入れながらより良い作品にするために工夫しようとしている。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 <b>【めあて】</b> 材料や組み合わせなどの構成についての見通しをもつために、タブレットの思考ツールを活用する。 様々な作品を鑑賞する時間を十分に確保することで、表現への意欲を高め、工夫して粘り強く考えることができるようにする。 <b>【振り返り】</b> 自分の活動内容を客観的に振り返り、次時の意欲につながるように、次の時間の具体的な目標を記入するようにする。 <b>【対話】</b> 授業支援アプリのシンキングツールを活用して自分の考えを視覚的に整理し、友達との意見交換を通して、より表現の効果を高める構成を工夫することができるようにする。		
子どもの実態 32人	①材料の形や質感などから何かに見立てることがよくできていると答えた生徒は20人だった。 ②材料の形や色彩、質感などを生かしながら効果的に表現しつくりことができていると答えた生徒は17人だった。	①材料から感じ取ったことをもとにテーマを設定して、表現をした経験はない。 ②作者の意図や工夫点に着目して作品を鑑賞することに苦手意識をもっている生徒が5人いる。	①日常生活で顔や動物に見えて面白いな、と思った経験がある生徒は多かった。経験がないと答えたのは3人だった。 ②友達のアドバイス等を参考にし、よりよい作品にしようとしていると答えた生徒は24人だった。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 材料の形や色彩、質感、特徴から他のものに見立てるイメージをもつことができる。 ② 材料のよさを生かし、効果的に表現できるよう構成や色彩を自分なりに工夫することができる。	① 材料の形や色彩、質感、特徴から美しさやおもしろさを捉え、構成を工夫して考えることができる。 ② 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や工夫点を捉えて鑑賞することができる。	① 身近な材料の特徴や美しさをもとに見立てるなどの構想を練り、工夫して表現活動に取り組んでいる。 ② より良い作品にしようとして積極的に参加している。

## 2 本時の授業計画

指導と評価の計画（7時間取り扱い ●本時3/7）				
課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
材料に命を吹き込む	1	1	○身近なものを顔などに見立てて発想豊かに表現する。	<b>【主】</b> ①観察 <b>【思】</b> ①作品、ワークシート
	2	2	○鑑賞からヒントを得て、自分のつくりたい動物の構想を練り、材料の候補を考える。	<b>【知】</b> ①ワークシート、思考ツール <b>【思】</b> ①ワークシート、振り返り <b>【主】</b> ①観察、作品
			●アイデアをもとに、表現に適した材料を探し、練り合いながら組み合わせる。	<b>【主】</b> ②観察 <b>【思】</b> ①観察、作品
	3	3	○材料の特徴を生かしながら組み立て、制作する。 ○材料のよさを生かしながら着色して完成させる。	<b>【主】</b> ②観察、ワークシート <b>【知】</b> ②観察、作品 <b>【思】</b> ①観察、作品
	4	1	○鑑賞でお互いの作品の工夫点などに気付き、よさを味わう。	<b>【思】</b> ②観察、ワークシート

## 2 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

材料の生かし方について友達との意見交換を通して、自分の作品をより良いものに改良・工夫することができる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	10	1 前時を振り返り、自分のつくりたい動物と準備した材料を照らし合わせる。	○自分がつくりたい動物は？ ○その動物をどのようなイメージで作りますか？ ・飛んでいるところ。 ・口を大きく開けて威嚇しているところ。	○材料の形や特徴などから、動物のどんな様子を表現できそうか考えさせる。	・参考作品 ・ワークシート ・タブレット 思考ツール
		2 めあてを確認する。	生き生きとした動物を表現するため、材料の組み合わせを工夫しよう！		
展開	10	3 持ってきた材料でどんな表現ができるか考える。(個人)	○どんな様子の動物をつくりたいのか、材料で一番生かしたものはどれか。 ・この木は使いたい。 ・材料を持ってきたけど、どこに使えるかな？	○材料の形や特徴などのよさ、おもしろさをどう生かすのか考えさせる。 ◎【思】① 材料の形や色彩、質感、特徴から美しさやおもしろさを捉え、構成を工夫して考えている。	・材料（各自）
	20	4 グループで相談しながら材料を検討する。(グループ)	○皆が持ってきた材料でよさそうなものを探してみよう。  ○悩んでいるところを相談しよう。 ・この場合とどちらが良いかな？	○材料によってどんな加工ができるのか考えさせる。 ◎【主】② より良い作品にしようと積極的に参加している。 ○お互いの相談に乗りながら検討させる。(材料の写真を撮っておく。)	・材料（全体）  ・タブレット 授業支援アプリ (写真記録)
終末	10	5 振り返りをして、材料をまとめておく。	○自分の表現したい生き生きとした動物はつくれそうですか？	○自分の表現したい動物のイメージを確認させる。	・ワークシート
		6 次時の目標を立てる。	○次の時間、いよいよ材料に命を吹き込もう。	○次の時間への意欲につなげる。	

## 1 題材の構想

材料に命を吹き込む

題材終了後の 子どもの姿	材料の形や質感に着目し、自分なりのイメージをもって考え、工夫して表現している。 材料の特徴や色彩、遠想する形を自分なりにとらえ、構想を練ったり鑑賞したりしている。 身近な材料の特徴や色彩、形に関心をもち、特徴を捉えて見立てることに意欲をもって取り組んでいる。
-----------------	---

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
① 材料の形や色彩、質感などから何かに見立てたり、全体のイメージでとらえたりすることができる。 ② 材料の生かし方を考え、自分なりに工夫して作品を作ることができる。	① 材料から感じ取った形や色彩、特徴をもとにテーマをもって構成を工夫し、表現することができる。 ② 材料から感じるやさしさや美しさを感じ取り、作者の意図や工夫点を捉えることができる。	① 身近な材料の形や特徴などに着目して表現活動に取り組もうとしている。 ② 友達の見解を取り入れながらより良い作品にするために工夫しようとしている。

ポイント

題材の目標

【めあて】

材料や組み合わせなどの活用する。

様々な作品を鑑賞する時、強く考えることができる。

【振り返り】

自分の活動内容を客観的に振り返り、目標を記入するようにする。

【対話】

授業支援アプリのシンク機能を活用し、より表現力を高める。

子どもの実態

32人

①材料の形や質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

②材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

③材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

④材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑤材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑥材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑦材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑧材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑨材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑩材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑪材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

⑫材料の形や色彩、質感などから何かに見立てることがよくできると答えた生徒は20人だった。

## 題材の目標

生徒の実態を基に、3つの資質・能力に整理する。基本的に、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の文末は「～できる。」とし、「学びに向かう力、人間性等」は「～ようとしている」にする。

ポイント

## 題材の評価規準

「題材の目標」を、生徒と共有できる表現に書きかえる。

の評価規準

・判断・表現

① 身近な材料の特徴や美しさを感じ取り、特徴を捉え、表現活動に取り組んでいる。

② より良い作品にしようとして積極的に参加している。

③ より良い作品にしようとして積極的に参加している。

④ より良い作品にしようとして積極的に参加している。

⑤ より良い作品にしようとして積極的に参加している。

⑥ より良い作品にしようとして積極的に参加している。

⑦ より良い作品にしようとして積極的に参加している。

⑧ より良い作品にしようとして積極的に参加している。

## 2 本時の目標

ポイント

と評価の計画（7時間取り扱い ●本時3/7）

課題等	回数	時間	学習活動	評価計画	評価する内容と方法等
材料に命を吹き込む	1	10	前時を振り返り、自分のつくりたい動物と準備した材料を照らし合わせる。	○自分がつくりたい動物は？ ○その動物をどのようなイメージで作りますか？ ・飛んでいるところ。 ・口を大きく開けて威嚇しているところ。	○材料の形や特徴などから、動物のどんな様子を表現できそうか考えさせる。
	2	10	めあてを確認する。	生き生きとした動物を表現するため、材料の組み合わせを工夫しよう！	
	3	10	持ってきた材料でどんな表現ができるか考える。（個人）	○どんな様子の動物をつくりたいのか、材料で一番生かしたものはどれか。 ・この木は使いたい。 ・材料を持ってきたけど、どこに使えるかな？	○材料の形や特徴などのよさ、おもしろさをどう生かすのか考えさせる。 ◎【思】① 材料の形や色彩、質感、特徴から美しさやおもしろさを捉え、構成を工夫して考えている。 ○材料によってどんな加工ができるのか考えさせる。 ◎【主】② より良い作品にしようとして積極的に参加している。 ○お互いの相談に乗りながら検討させる。（材料の写真を撮っておく。）
	4	10	自分の表現したい動物のイメージを確認させる。	○自分の表現したい動物のイメージを確認させる。 ○次の時間への意欲につなげる。	・参考作品 ・ワークシート ・タブレット 思考ツール

題材を通した学習課題等  
生徒が題材を通して、主体的に学習に取り組むことができる学習課題等を設定する。

## 2 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

材料の生かし方について友達との意見交換を通して、自分の作品をより良いものに改良・工夫することができる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	10	前時を振り返り、自分のつくりたい動物と準備した材料を照らし合わせる。	○自分がつくりたい動物は？ ○その動物をどのようなイメージで作りますか？ ・飛んでいるところ。 ・口を大きく開けて威嚇しているところ。	○材料の形や特徴などから、動物のどんな様子を表現できそうか考えさせる。	・参考作品 ・ワークシート ・タブレット 思考ツール
	10	めあてを確認する。	生き生きとした動物を表現するため、材料の組み合わせを工夫しよう！		
展開	10	持ってきた材料でどんな表現ができるか考える。（個人）	○どんな様子の動物をつくりたいのか、材料で一番生かしたものはどれか。 ・この木は使いたい。 ・材料を持ってきたけど、どこに使えるかな？	○材料の形や特徴などのよさ、おもしろさをどう生かすのか考えさせる。 ◎【思】① 材料の形や色彩、質感、特徴から美しさやおもしろさを捉え、構成を工夫して考えている。 ○材料によってどんな加工ができるのか考えさせる。 ◎【主】② より良い作品にしようとして積極的に参加している。 ○お互いの相談に乗りながら検討させる。（材料の写真を撮っておく。）	・材料（各自） ・材料（全体）
	10	自分の表現したい動物のイメージを確認させる。	○自分の表現したい動物のイメージを確認させる。 ○次の時間への意欲につなげる。	○自分の表現したい動物のイメージを確認させる。 ○次の時間への意欲につなげる。	・タブレット 授業支援アプリ （写真記録） ・ワークシート
終末	6	次の目標を立てる。	○次の時間、いよいよ材料に命を吹き込もう。		

ポイント

## 教師の支援

「発想や構想を豊かにする活動」、「生徒が主体的になる活動」など、具体的な手立てを書く。